



# 2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

2020年8月  
AI inside 株式会社  
( 東証マザーズ 4488 )

## ミッション

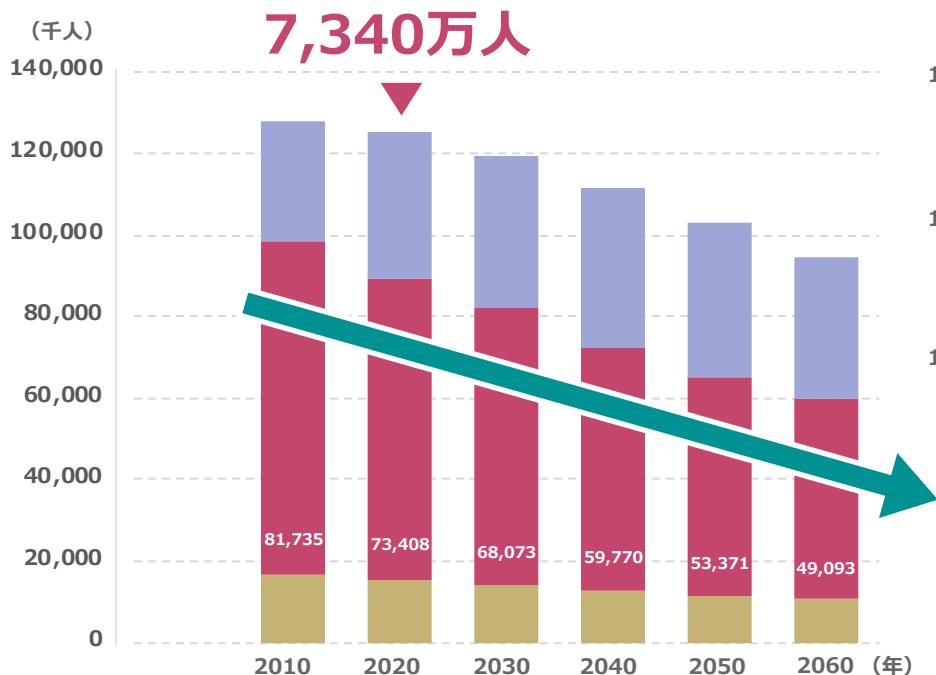
世界中の人・物にAIを届け  
豊かな未来社会に貢献する

## ビジョン

# AI inside X

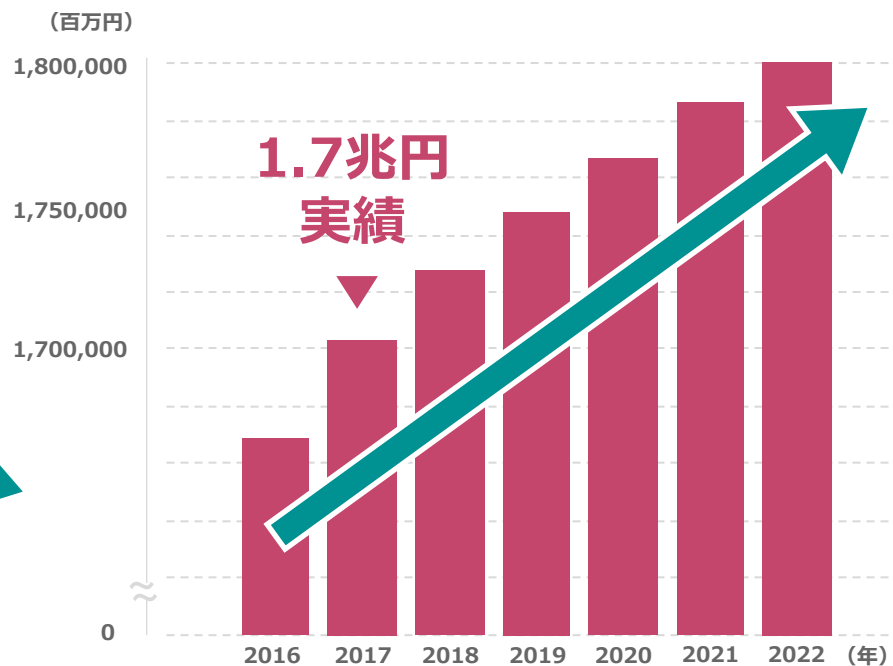
「X = 様々な環境」に溶け込むAIを実装し、誰もが特別な意識をすることなくAIを使える、その恩恵を受けられる、といった社会を目指しています。

# 人口減少の中、人の作業は増加している



生産年齢人口が減少している背景の中、生産性の向上・業務の高付加価値化が求められており、働き方改革が進められている。

出所：総務省「平成29年情報通信白書」2015年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳人口を除く)、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(出生中位・死亡中位推計)



データ入力などの「コア部門単純業務」は2017年度実績で5,830億円で最も大きい。

▶ データ入力作業のAI化から始める

出所：株式会社矢野経済研究所 BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）市場の実態と展望 2018-2019

# 製品について



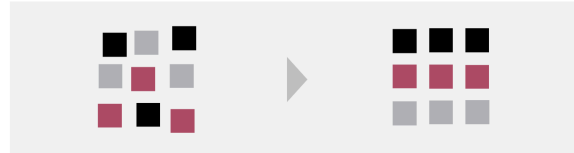
## Intelligent OCR (基本サービス)

手書き、活字、FAX、写真で撮った書類まで、あらゆる書類を、高精度でデジタルデータ化します。

東京都渋谷区 渋谷 3-8-12 渋谷第一生命ビルディング4階	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング4階
1-3-24	1-3-24
渋谷 中央	渋谷中央

## Elastic Sorter (オプション)

書類の仕分けも、AIで自動仕分けします。



## Multi Form (オプション)

レイアウトが無数にある帳票でも、設定することなく、AIが自動で読みたい項目を抽出し、読み取ります。

請求元会社名: AI Inside 株式会社 請求元住所: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-12 請求元TEL: 03-5468-5041 請求先会社名: エーアイ株式会社 合計金額税込: 150000 消費税: 7143 発行日: 2019年12月31日 請求書番号: 123-4567 請求期日: 2020年1月30日 銀行名: A銀行、エーアイ銀行 支店名: 渋谷支店、新宿支店 口座種別: 普通、普通 口座番号: 1234-56789、9876-54321 口座名義: エーアイカブシキガイシャ、エーアイカブシキガイシャ 合計金額税抜: 142857	請求書 請求元会社名: AI Inside 株式会社 請求元住所: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-8-12 請求元TEL: 03-5468-5041 請求先会社名: エーアイ株式会社 合計金額税込: 150000 消費税: 7143 発行日: 2019年12月31日 請求書番号: 123-4567 請求期日: 2020年1月30日 銀行名: A銀行、エーアイ銀行 支店名: 渋谷支店、新宿支店 口座種別: 普通、普通 口座番号: 1234-56789、9876-54321 口座名義: エーアイカブシキガイシャ、エーアイカブシキガイシャ 合計金額税抜: 142857
---	--

# 製品の提供方法

## 1. DX Suite クラウド版

AI inside Cloud



インターネット  
/ VPN / 専用線



帳票やテキストデータ

ユーザ環境

## 2. DX Suite オンプレミス版



LAN



帳票やテキストデータ

ユーザ環境

## 3. DX Suite 地方公共団体向け

株式会社エヌ・ティ・ティ・データと協業提供

行政専用のデータセンター



LGWAN ※



帳票やテキストデータ

地方公共団体ユーザ環境

※地方公共団体の組織内ネットワーク (庁内LAN)

# 業績と経営指標について

# 2021年3月期の方針

**With Corona で急速に社会システムが変わります。2021年3月期は変化の過渡期と位置付け、確実に進展するデジタル化、省力化、非接触化の変化スピードを的確に把握し、対応してまいります。当社内のより一層のDX推進、生産性向上を実現し、体質やビジネスの強化に努めます。その上で安く、早く、広く、高価値なAIを提供する事で、企業や行政のデジタル化、AI化に貢献します。**

**2021年3月期は、これまで通りリカーリング型売上の成長を重視し、ビジネスをより安定的で競争優位性の高い、強固なものにします。**

- 製品について
  - DX Suite の機能を強化し、より良い製品にします。
  - AI inside Cube の機能を強化し、より良い製品にします。
  - AI inside Learning Center 製品版をリリースし、ビジネスを開始します。
- 仕組みについて
  - 自社データセンターの取り組みにより、製品をより安く提供できる仕組みを構築します。
  - 社内のオペレーション最適化、自動化により、全製品をより安く早く提供できる仕組みを構築します。
- 販売について
  - 値下げ、小規模プランの発売などにより製品を安く広く提供します。
  - 多国展開で製品をより広く提供します。  
※外国語対応AI-OCRについては一部開発済み。ビジネスは現状開始せず、コロナの影響に鑑み開始判断します。  
その間、より良い製品とするため開発は継続します。
- その他戦略的取り組みを行います。

# 2021年3月期 第1四半期 業績概況

(百万円)	2020年3月期 通期	2021年3月期 第1四半期	2021年3月期 業績予想	進捗率
売上高	1,591	677	2,632	25.7%
営業利益	432	247	576	42.9%
経常利益	409	247	572	43.1%
当期純利益	419	209	391	53.4%



# 2021年3月期 第1四半期 業績概況における経営指標

(百万円)		2020年 3月期	2021年3月期 業績予想 (A)	2021年3月期 第1四半期 実績 (B)	達成率 (B÷A)	
売上高	合計	1,591	2,632	677	25.7%	
	リカーリング	750	2,151	504	23.4%	
	セリング	840	481	173	35.9%	
契約数	合計	1,873契約	3,546契約	5,823契約	164.2%	
	DX Suite	Lite	1,173契約	2,438契約	5,000契約	205.0%
		Standard, Pro	700契約	1,108契約	823契約	74.2%
	AI inside Cube	33台	120台	75台	62.5%	
チャーンレート	0.45%	2.00%	0.39%	-		

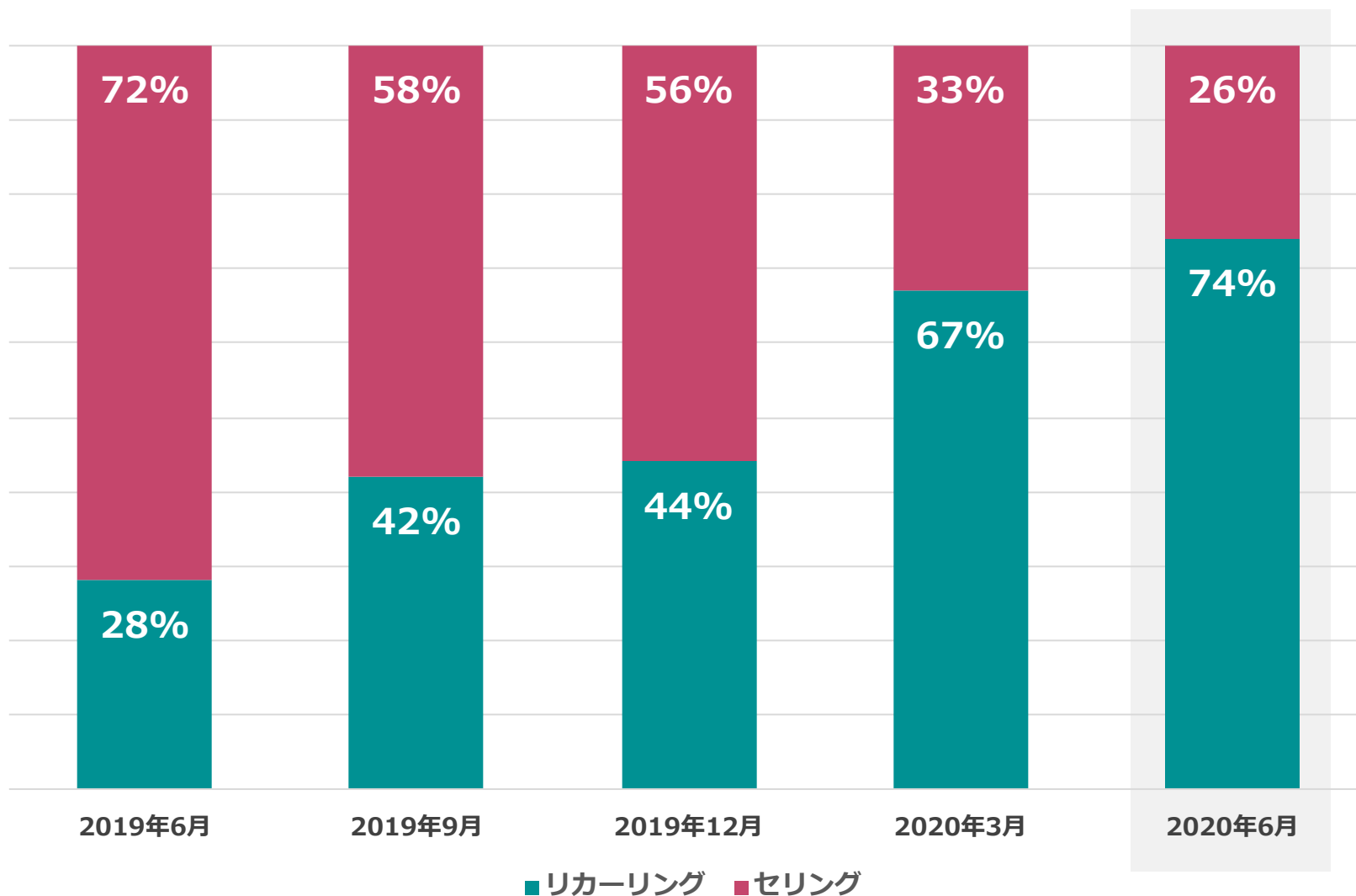
※ 緊急事態宣言下において落ち込んだ契約獲得スピードが、その後一部で回復しました。

※ チャーンレートは2019年7月から2020年6月までの月平均の値です。

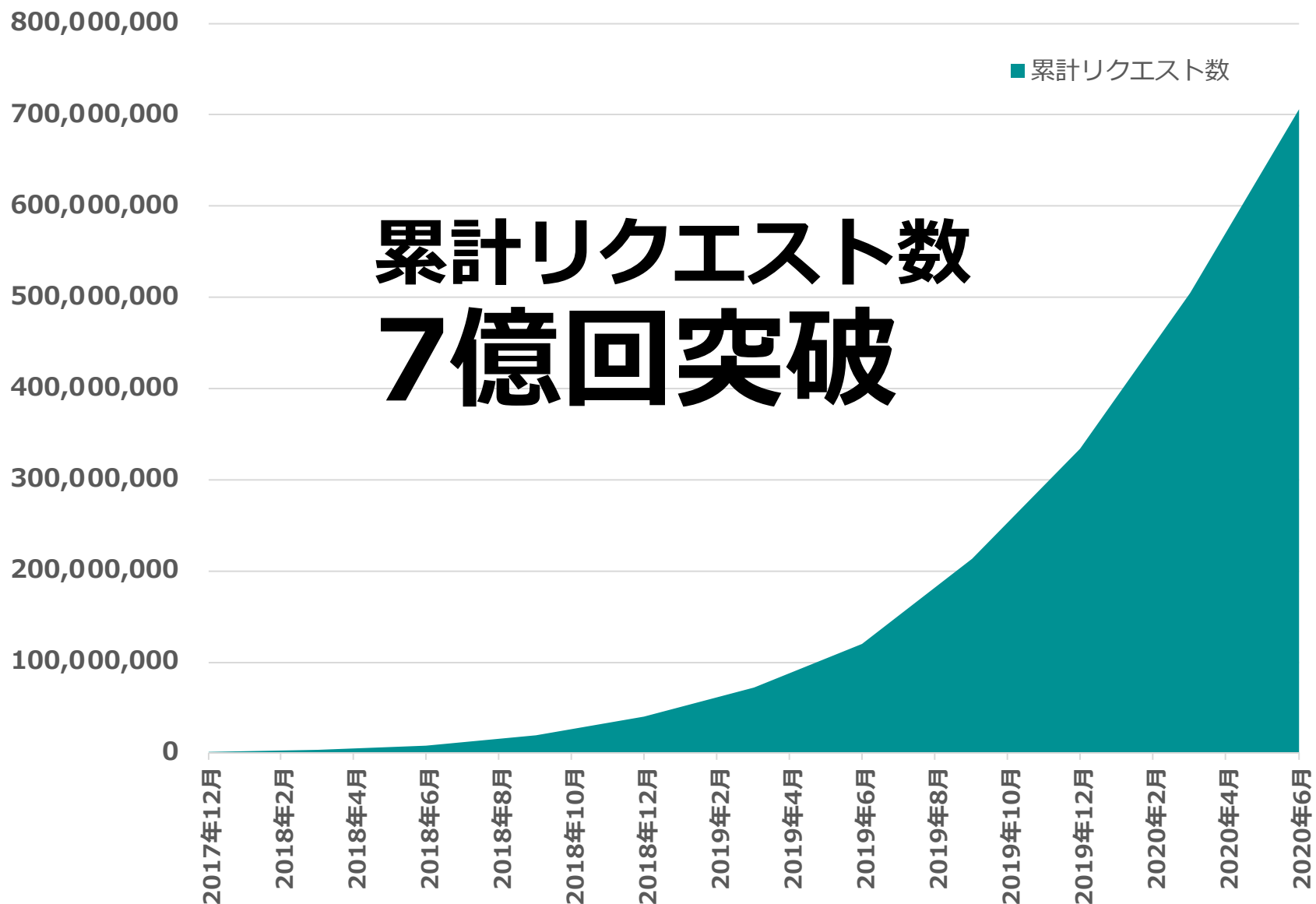
※ Elastic Sorter は492契約、Multi Form は545契約でした。

※ AI inside Cube については一部、特別給付金のデータ化処理などの一時的需要により増加しました。

# リカーリング、セリング型売上比率



# DX Suite 利用回数の増加傾向 (2020年6月末時点)



# 販売パートナーについて

・広く販売していくために、販売パートナー戦略を推進しています。

## 販売パートナー 79→87社

## OEMパートナー

**NTT Data**  
Trusted Global Innovator

**HITACHI**  
Inspire the Next  
日立システムズ

NECネットエスアイ

**DNP**  
大日本印刷

**RICOH**

**Kodak alaris**

**SCSK**

**JSOL**

**TIS**  
TIS INTEC Group

**RPA**  
TECHNOLOGIES

**TMIJ**

**P A S O N A**

**NTT 東日本**

**AIよみと~る**  
with AI inside

**NTT 西日本**

おまかせ **AI**  
**OCR**  
with DX Suite

**NTT Data**  
Trusted Global Innovator

**NaNATSU**  
自治体業務のお助けデジタル工具箱  
AI-OCR with DX Suite

# 業績と経営指標の 修正について

## 2021年3月期 業績予想の修正

(百万円)	2021年3月期 業績予想 (A)	2021年3月期 修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B÷A)
売上高	2,632	3,577	944	35.9%
営業利益	576	1,035	459	79.6%
経常利益	572	1,032	459	80.3%
当期純利益	391	718	327	83.6%

# 2021年3月期 修正予想における経営指標

(百万円)

2020年3月期  
(A)

2021年3月期  
業績予想

2021年3月期  
修正予想  
(B)

増減  
(B-A)

増減率  
(B÷A)

合計

1,591

2,632

3,577

1,985

124.8%

売上高

リカーリング

750

2,151

3,086

2,335

411.0%

セリング

840

481

490

-349

-41.6%

対売上高  
比率

R&D

23.42%

32.00%

29.71%

6.29%

-

Sales &  
Marketing

19.28%

17.73%

17.73%

-1.55%

-

General &  
Administration

22.46%

22.24%

18.01%

-4.45%

-

Cost

7.68%

6.12%

5.60%

-2.08%

-

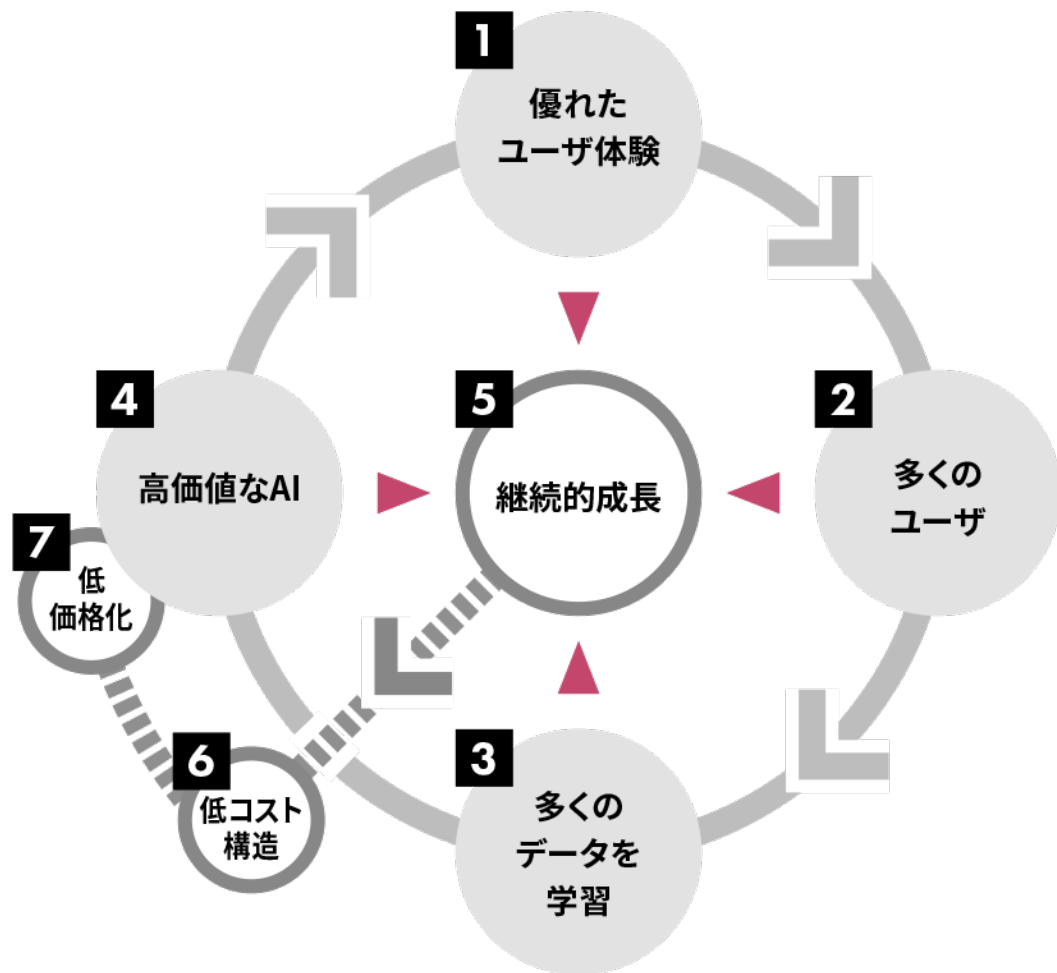
※ 2020年3月期は35名入社。2021年3月期は27名から46名採用予定に修正。

# AI inside の プラットフォーム戦略 について



# ビジネスの根幹となる好循環サイクル

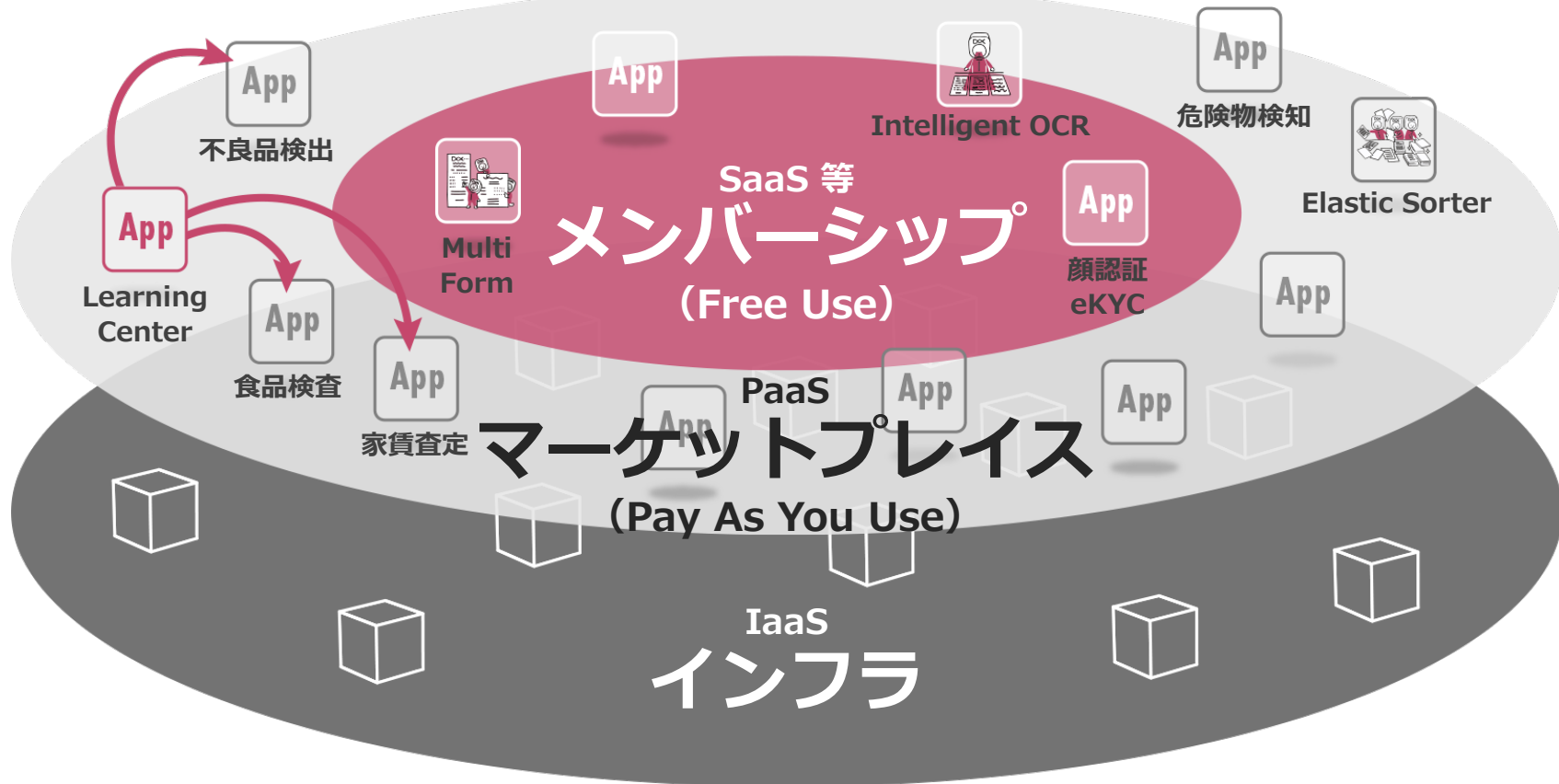
- ・ 当社はAIを高価格で提供する企業ではありません。
- ・ 当社は高価値なAIを低価格で、広く提供する企業です。



- 1 優れたユーザ体験は
- 2 多くのユーザに選ばれ  
多くのユーザは多くのデータを生み出し
- 3 多くのデータを学習することで
- 4 より高価値なAIを生み出し  
より優れたユーザ体験を生み出す
- 5 そのサイクルから継続的成長が生まれ  
ビジネスが大規模化する
- 6 大規模化と共に生産の低コスト化が実現し  
低価格化に繋がる
- 7 高価値なAIを低価格で、広く提供する

# AI inside のプラットフォーム戦略

当社は世界中の人・物にAIを届け、豊かな未来社会に貢献することをミッションとしています。AIを動かすインフラ（IaaS）としてAI inside Cloud、AI inside Cube、ネットワーク等を。誰もが簡単にAIを作れるツールとしてAI inside Learning Center を。ユーザ自身、または他のユーザや当社が作ったAIやアプリを選択し使うためのマーケットプレイス（PaaS）を。DX Suite のメンバーシップによって、それらAIやアプリ、サービスの無料利用枠を、より価値高く提供し、ユーザ体験を強化し続けます。

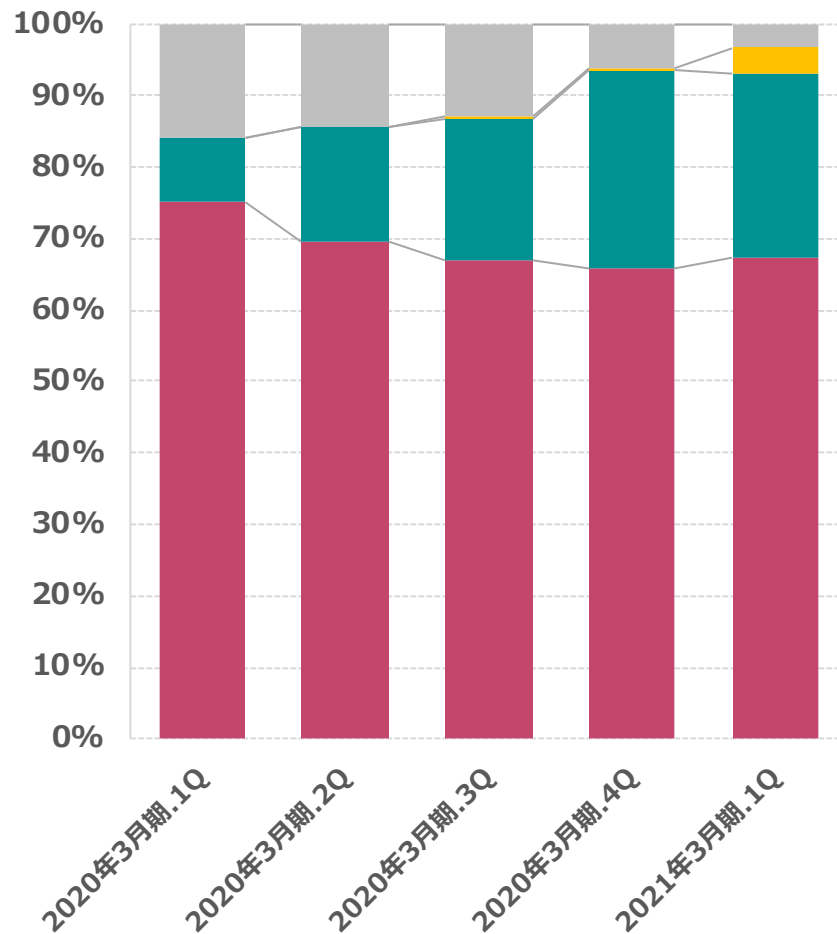
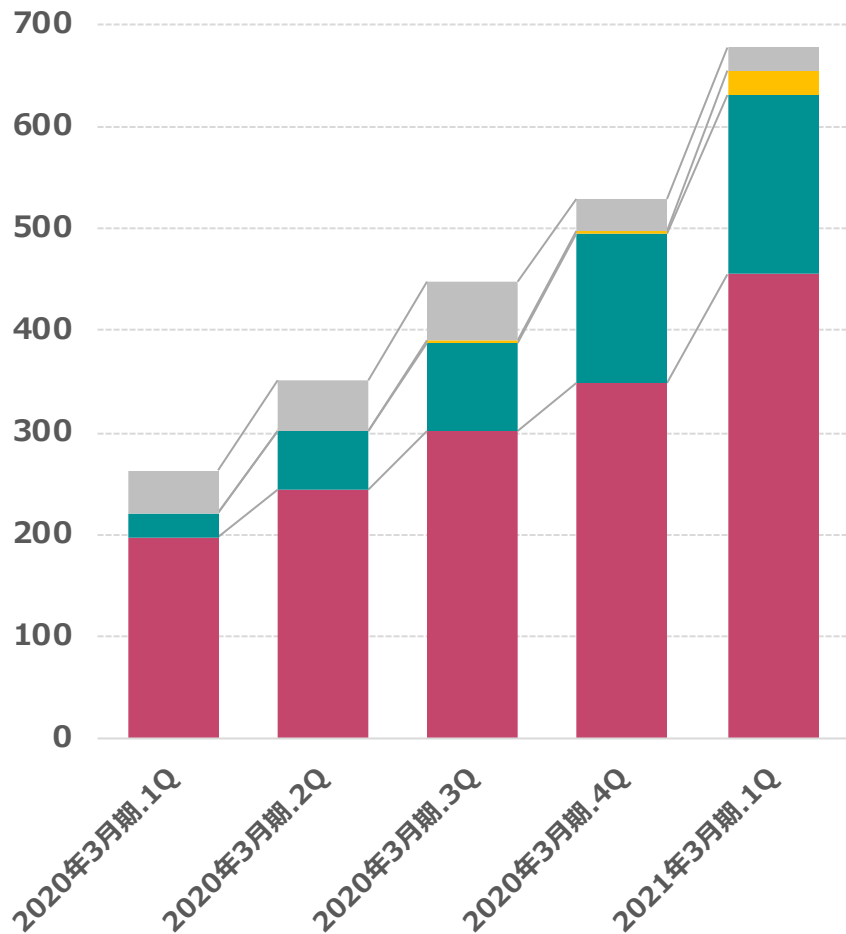


# プラットフォーム戦略の実績推移

契約数の増加によってDX Suite 基本料=メンバーシップが増加。オプションの購入や従量利用拡大によってマーケットプレイスが増加。

メンバーシップによる無料利用枠を超えてマーケットプレイスやインフラの利用が拡大している。

(百万円) AI inside Cube =インフラが増加。

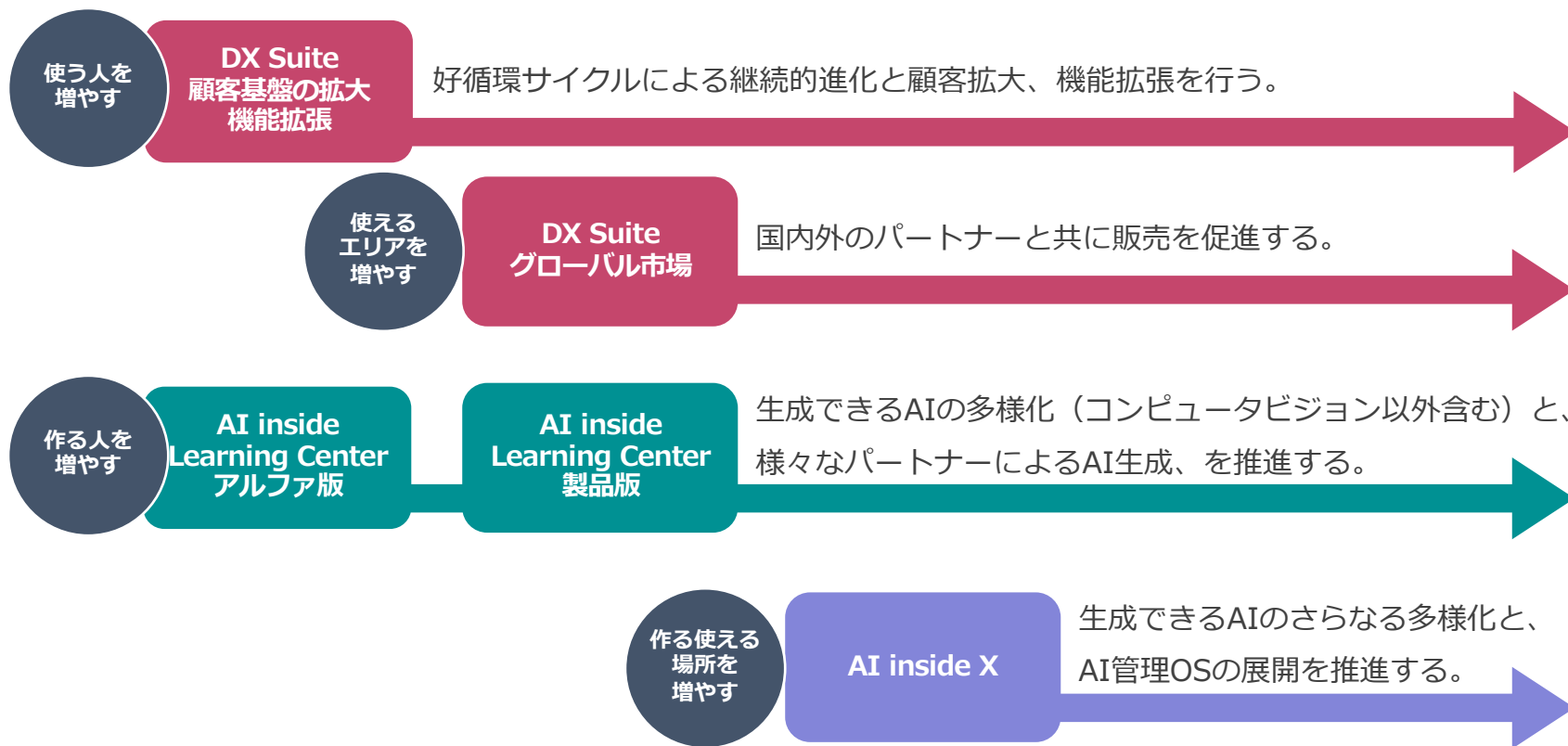


# ロードマップ

AI inside は、グローバル市場で

すべてのAIの学習と推論のプラットフォームを目指します。

2021年3月期



# 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

# Appendix

# DX Suite 料金プラン

	DX Suite Lite	DX Suite Standard	DX Suite Pro
初期費用	0円	20万円	20万円
月額費用 (=Membership)	3万円	10万円	20万円
リクエスト単価 (=Pay As You Use)	@3円	@1円	@1円
無料利用枠 (=Free Use)	6,000 リクエスト	50,000 リクエスト	200,000 リクエスト

# AI を作る際の課題

AI を作るのに必要なもの

- ・ 大量のデータと
- ・ 高度なAIリサーチャー、エンジニア
- ・ GPU

それぞれ希少価値が高く、コストと時間がかかる。

AI開発における  
ステップ



誰でも、安く、早く、高品質なAIを作れて

誰でも、安く、早く、高品質なAIを使える

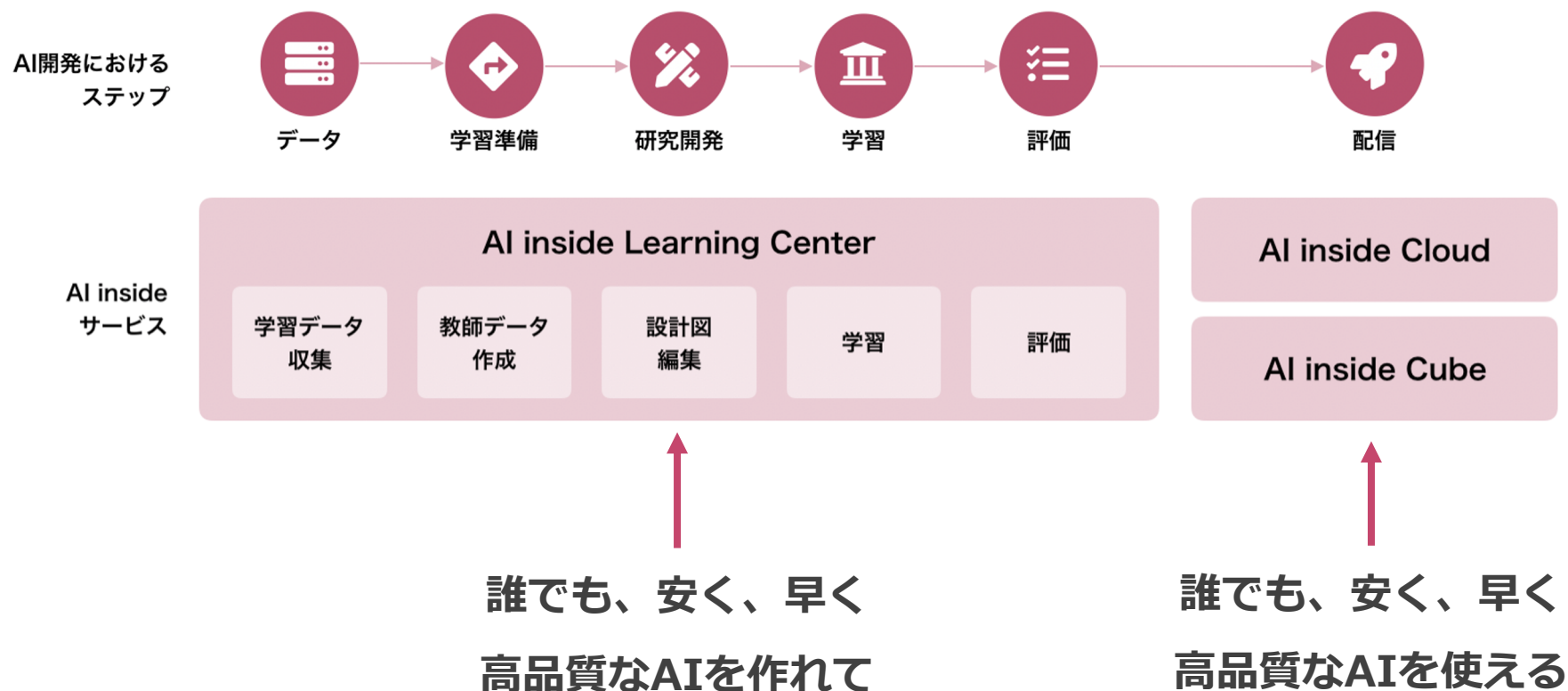
世界を実現しなければ、AIが使われる未来社会は遠い。



# 課題解決のための 学習基盤

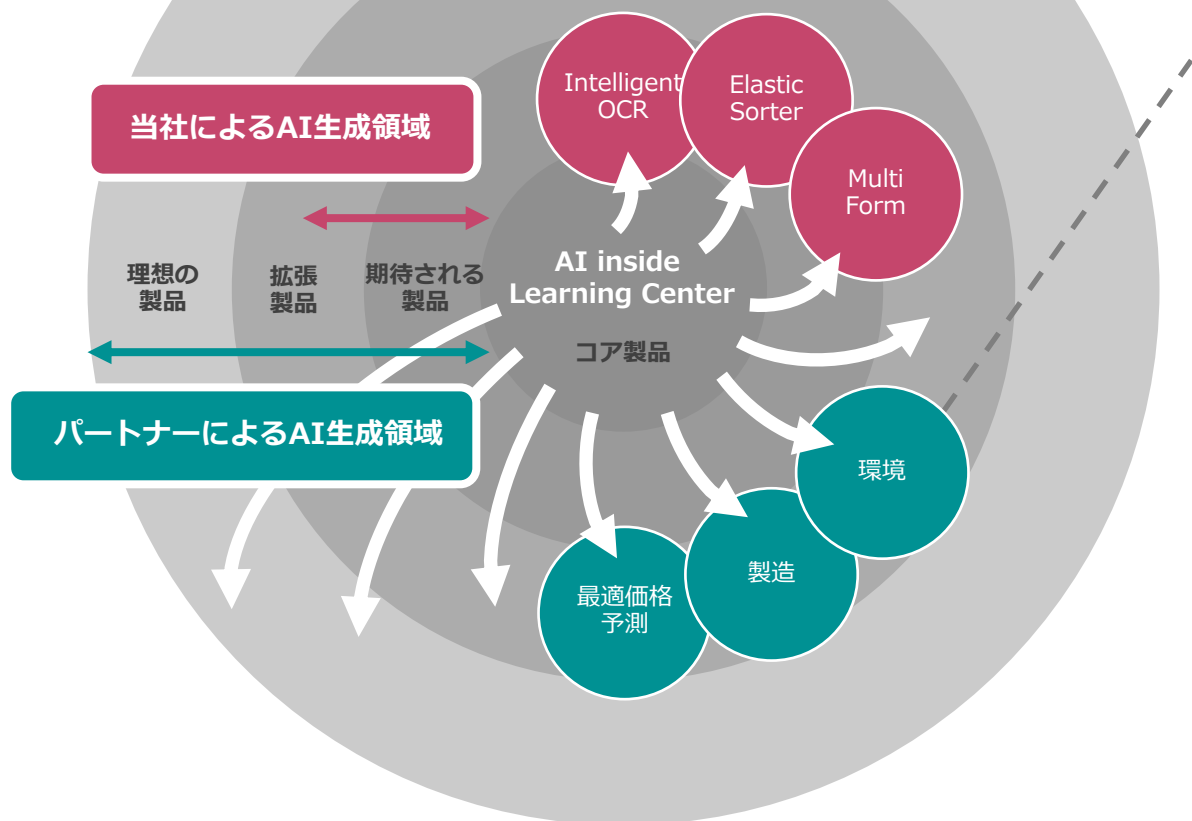
## AI inside Learning Center

- ・ AI inside Learning Center は、AI開発におけるステップを網羅した社内システムです。
- ・ データの管理から、AIの自動生成・配信まで、開発者でなくても簡単な操作で実行できます。
- ・ AI-OCR以外のAIも自動生成することができます。



# AI inside Learning Center のプラットフォーム戦略における役割

当社のコアテクノロジーである「AI inside Learning Center」は、自社利用にとどまらず、ユーザに利用していただく方針です。当社がひとつひとつの業界に入り込んで、要件定義やプログラミングを行ってAIを“開発”するのではなく、多くの業界のプロフェッショナルであるユーザに、必要とされているAIを自動生成いただくことで、DX Suite は、すべてのAIを利用できるスーパーアプリを目指します。



## 事例

ゴミ処理場での危険物検知AIをパートナーが「AI inside Learning Center」を利用して生成。「AI inside Cube」にインストールして利用。



生成したAIファンクションを、AI inside Computing Engine で動かしているところ

